

2023 年 1 月 発



今年もよろしくお願ひいたします



丹治 健一（もだま監事）

もだまに集う皆さま、明けましておめでとうございます。

皆さまには、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、コロナ禍、猛暑に加え、多くの生活用品の値上げやウクライナなどの国際情勢といった心配ごとが続く中、年末にはサッカーで国中が盛り上がりましたが、どちらかといえば良いイメージが浮かんでこない1年だったかと思ひます。

私は、数年前からもだまの監事を拝命しておりまして、理事会に出席するほか、もだまの事務所にも年に一度はお邪魔して業務や財産の状況の監査をしておりまして。もだまの職員の皆さんは、生活相談や成年後見など言葉はやさしいですが、実務はきびしく時に心折れそうになっても明日を見てがんばっておいでになります。

さてさて、ギリシャ神話のお話しです。エジプトはテーベのスフィンクス、旅する人になぞをかけます。「朝は4脚、昼は2脚、夕は3脚のものは何か？」と。解けない人はスフィンクスに食べられてしまいます。そんな恐ろしいなぞかけですが、皆さんは、もうお分かりですね。「それは人間」とオイディプスが答えます。

赤ちゃんがハイハイから立ち上がり、老いて杖をついて3脚です。そして、杖は今も現役ですが手押し車もたくさん見かけます。

もだまは、そんな分かりやすい杖でなく、生活支援や成年後見など外から見えにくい、又見えづらい杖となってより良い社会を築けるよう一所懸命で、皆さまには、そんなもだまの杖になっていただければ幸いです。

新しい年が、皆さまにとって健康で素敵な1年になりますよう願ひしております。

どうぞ本年もよろしくお願ひ申し上げます。



高齢者・障がい者なんでも相談会開催（11/13）



11月13日、守山市すこやかセンターで開催しました。昨年と同様コロナ感染対策として事前予約申込による開催となり、あいにくの雨の中、12人が来所いただきました。相談件数は14件で高齢者相談7件、障がい者相談は7件のうち1件はひきこもりの相談をお受けしました。

相談内容については、相続や遺言そして成年後見制度に関する相談や質問、財産管理などの司法関係が29件、病気や年金、就労などの福祉関係が7件と幅広い内容となり、弁護士、司法書士、社会福祉士、精神保健福祉士、社会保険労務士などの専門職をはじめ、障がい者支援事業所、ぱんじー、守山社協、そして守山包括支援センター、行政など10団体18名の方々が相談に対応いただきました。

その場で解決できず、次の相談機関を紹介したり、情報の提供や、相談の窓口をお伝えすることで安心いただける事もありました。

この事業の目的である「高齢者や障がいがある方々が地域で安心して生活するために専門職や関係機関、行政などがワンストップで相談に対応する」そのことを通して関係者間の交流と支援のネットワークをつくる。そのような機会や場とするために継続していければと考えています。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



研修報告

去る12/10、龍谷大学福祉フォーラム「支援と寄り添い～伴走型支援に向けて」に参加しました。福祉の支援で今までの経緯として、公的サービスを使って自立した生活をする自立支援制度がありますが、サービスには限界があり次に地域で一人ひとりの暮らしを支え合うという地域共生・包括型的支援という考え方が生まれ、そして近年は、伴走型支援という理念が提唱されています。定義はまだ定まっていはいないとの事ですが、細く長く本人に寄り添い、支援が必要な時のために繋がり続けるという支援の方法です。問題解決型ではありませんが、本人の人生に寄り添うという支援についてのお話がありました。グループワークでは参加者が大学の教員で、ゼミに参加できない学生から相談を受けるという設定で、この学生への問題解決型支援と伴走型支援のちがいについて意見を出し合いましたが、「課題解決型支援」と「伴走型支援」は、これからの支援の両輪となってどちらも重要だと思いました。

成年後見制度利用促進法における
《中核機関の役割と実務》（研修会）

開催日時： 2023年2月3日（金） 13:30~16:00
（受付13:00）

会場： 栗東芸術文化会館 さくら 小ホール

基調講演 『行政が期待する中核機関の役割』

講師：安藤 亨さん（豊田市福祉総合相談課）（元厚労省成年後見制度利用促進室）
（休憩）

パネルディスカッション 『地域の権利擁護支援をすすめるための行政・関係機関
中核機関の役割について』

井上 綾さん （東海市 社会福祉課）

今井 友乃さん （知多地域権利擁護支援センター理事長）

檜山 久美子さん（守山市 長寿政策課）

竹村 直人さん（成年後見センターもだま所長）

コーディネーター 桐高 とよみさん（権利擁護支援センターぱんじー所長）

コメンテーター 安藤 亨さん

主催・お問い合わせ：全国権利擁護支援ネットワーク 電話047-407-4584

現地事務局：特定非営利活動法人 成年後見センターもだま 電話077-598-0246

相談員・事務職員を募集しています

もだまでは、後見業務や委託事業（相談・支援業務）を担っていただく相談員1名（正規職員）と、被後見人等の財産管理業務を担当いただく事務職員1名（非正規職員）を募集しています。

勤務時間は、9時から17時

相談員は、キャリア形成のため45歳までの方としています。

社会福祉士資格有りの方、または見込みの方

休日は、土日祝・GW・年末年始・夏季休暇です。

その他詳細については、もだまにお問い合わせください。お待ちしております。

2023 年の私たちの抱負



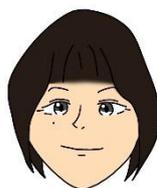
膝を治して
テニスを
再開!!

竹村直人



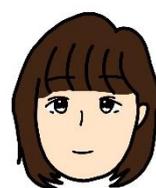
自分の身体の声
を聞く。

濱口裕美



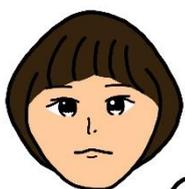
健康に過ごす。
ぐっすり寝るこ
と。

森田雅子



たまには旅行で
ひと息補給!

木村幸代



もだま一同

バンドでコーラ
スが歌えるよう
になりたいで
す。

小林智子



自分の癒しの時
間を増やす。

森島亮子



今年こそー5kg!!
やりたいことはやる!
自分の気持ちに正直に
なる。

田辺晶



今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

「もだま」の活動趣旨にご賛同いただける方を募集しています。
個人、団体を問わず皆様の入会を心よりお待ちしております。

会員募集

●正会員年会費●

個人 1口 3,000円

団体 1口 10,000円

●賛助会員年会費●

個人 1口 2,000円

団体 1口 5,000円

※ご入会・ご支援の申込みは、所定の振込用紙がありますので事務局までご連絡下さい。

TEL: 077-598-0246

FAX: 077-598-0888

E-mail modama.npo@triton.ocn.ne.jp